

房総 だより

(農)房総食料センター

千葉県山武郡横芝光町上原 368-1

<http://www.boso.or.jp/>

☆産地情報をお知らせします。

発行：2019年6月7日

野菜よもやま話

じゃがいもの栽培報告



最終回「食卓に上らせるまでが仕事」

ジャガ芋生産者のつぶやきの記録も今回で最後。播種から約3ヶ月、あっという間に収穫時期を迎え、緊張の瞬間。果たして芋の出来はいかに？

- 5 月中頃** 開花終盤。ジャガイモが栄養を蓄積し始める時、つまり芋が大きくなる段階。病気にかかりやすいので予防のため防除を行う。今年は気温が高いので芋の異常も心配された。
- 5 月後半** 強風襲来。たたきつけるような雨。葉や茎の折れが発生。暑さ寒さが極端な春に気分も一緒に乱高下。
- 5 月末** ジャガイモ部会の査定会。試し掘りである。自ら描いた目標通り、1株当たりの芋の数は、数年前より増える。やや小玉だがきれいな白い芋。気になる「そうか病」もほとんど出ていない。ほっとひと安心。
- 5 月末** 茎葉を刈り、いよいよ第一回目の収穫。勢いよく掘り起こしたが新ジャガはやわらかい。せっかくきれいに育った芋を作業の中で傷つけてしまう事も少なくないのだ。芋作り10年目。最後まで気を抜いてはいけない。消費者の口に入るまでが仕事なのだから。

「ジャガ芋なんかテキトーでも作れる。」
そのような事はないのです。毎年同じ結果が出るとは限りません。緊張感を持たなければ同じ失敗を繰り返します。良い野菜を育て送り出すには野菜の能力を引き出し維持する努力が求められるのです。

今、まさに新ジャガを食べながら、
農業の深さを味わっています。

(山武市 石渡雄悠)

